

## クラウドファンディングで地域資源を活用

クラウドファンディングの手法を活用し、地域ブランドの魅力向上や地域資源を利用した新商品・サービスの提供、ファン拡大に取り組みられるお取引先をサポートしています。当行は2011年5月に全国の金融機関で初めて、ミュージックセキュリティーズ株式会社と提携し、これまでに11件の小口ファンドを組成しました(2015年7月末現在)。

また、2015年2月には、個別の小口ファンドを主たる投資対象とする「しがぎんふるさと投資ファンド投資事業有限責任組合」を設立。当ファンドからの出資により「呼び水」効果が期待できる小口ファンドに対して個別出資を行うことで、お取引先をサポートしています。



黒壁ガラス工房(長浜市)



グラシトール(長浜市)



本格手づくり革靴「八幡靴」(近江八幡市)



琵琶パール(近江八幡市)



近江牛と松茸のあばれ食い(甲賀市)



有機野菜の酵素エキス(大津市)



ふるさとたまご村 京たまご(京都府綴喜郡)



## 環境配慮と防災に優れた住宅の普及のために

- **エコ&耐震住宅ローン**(2005年取扱開始)
- **セレクトリフォームローン(エコ&耐震)**(2006年取扱開始)

環境に配慮された(ガス利用、オール電化、太陽光発電システム導入等)住宅や耐震住宅をご購入される際に、金利を引き下げること融資「**エコ&耐震住宅ローン**」を取り扱っています。なお、2012年10月よりスマートハウス(太陽光発電システム、蓄電池、HEMS<sup>※1</sup>)を装備した住宅)、2015年4月よりCASBEE<sup>※2</sup>の格付B+以上の住宅については、更なる金利の引き下げを実施しています。

また、エコ対象リフォーム工事、耐震工事の際には「**セレクトリフォームローン(エコ&耐震)**」により、必要な資金を通常より低金利でご融資します。

これらの商品は、温室効果ガスの排出削減や地域の防災に貢献することを目的としています。

※1 HEMS/家庭内のエネルギー監視システム。電力の使用を効率化でき、節電やCO<sub>2</sub>削減に効果があります。

※2 CASBEE/省エネルギーや環境負荷の少ない資材の使用といった環境配慮、室内の快適性や景観への配慮などを含めた建物の品質を総合的に評価するシステム。



## 定期預金で環境学習をサポート

- **エコプラス定期**(2003年取扱開始)
- **ネット投信**(2011年取扱開始、学校ビオトープへの拠出は2013年度から)

窓口ではなくダイレクトチャネル(ATM、電話、インターネット)で定期預金をお預け入れいただく「**エコプラス定期**」は、1回のお預け入れごとに7円(不要となる申込用紙相当額)を当行が拠出し、滋賀県内の小・中学校へ「**学校ビオトープ**」づくりの資金として毎年助成しています。

なお、2013年度より「**ネット投信**」において「**電子交付サービス**」をご契約いただくことによる紙資源削減相当額(1件につき100円)についても、おなじく拠出、助成をしています。これまで33の小・中学校に総額1,579万円を助成しています。



## お金の流れで地球環境を守る

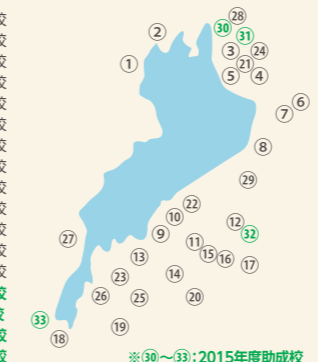


甲良町立 甲良東小学校

長浜市立 高時小学校

## 助成校

- 高島市立今津北小学校
- 高島市立マキノ北小学校
- 長浜市立速水小学校
- 長浜市立北郷里小学校
- 長浜市立長浜北小学校
- 米原市立山東東小学校(現在、米原市立山東小学校)
- 米原市立河南小学校
- 滋賀県立鳥居本養護学校
- 近江八幡市立北里小学校
- 近江兄弟社小学校
- 近江八幡市立老蘇小学校
- 東近江市立湖東第二小学校
- 守山市立河西小学校
- 竜王町立竜王小学校
- 東近江市立八日市南小学校
- 東近江市立御園小学校
- 日野町立桜谷小学校
- 大津市立膳所小学校
- 草津市立草津小学校
- 甲賀市立水口小学校
- 長浜市立神照小学校
- 近江八幡市立安土小学校
- 守山市立物部小学校
- 長浜市立湯田小学校
- 守山市立吉身小学校
- 草津市立笠縫東小学校
- 大津市立伊香立中学校
- 長浜市立高時小学校
- 甲良町立甲良東小学校
- 長浜市立富永小学校
- 長浜市立小谷小学校
- 東近江市立東郷北小学校
- 滋賀大学教育学部附属小学校



## 助成校の声

- 小魚やエビ、カニなどを池に放す子どもたちもいます。今後は、観察会など環境学習に活用していきます。
- 助成金による支援や地域の方々のご協力により、安全で自然豊かなビオトープに生まれ変わりました。
- 学年を超えた交流の場にもなっています。
- 地域の方々とのつながりの場としても活用していきます。



## 環境会計 ～環境と経済の両立～

環境保全活動の効果を報告するものとして、2006年度より環境会計を導入し、公表しています。環境対応型金融商品・サービスの提供は、短期的効果を求めるのではなく、長期的な視点でお客さまと継続的なリレーションを構築し、持続可能な社会を実現していくことに意義があり、それこそが地域金融機関としての使命であると考えています。環境会計導入時(2006年度)以降、徐々に安定した収益効果となり、2014年度の環境保全対策に伴う経済効果の合計額は390百万円となりました。これもひとえに、環境保全に対する地域の方々の皆さまのご支援のたまものと感謝申し上げます。

		2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	
環境保全コスト	投資額	215	134	671	49	31	36	43	12	20	
	費用額	132	224	380	332	299	288	282	270	261	
環境保全効果	温室効果ガス(CO <sub>2</sub> )排出量(t-CO <sub>2</sub> )	8,792	8,982	8,812	7,132	6,714	6,452	8,297	7,255	A 6,873	
	環境対応型融資商品の残高	68,658	79,084	85,258	82,750	93,030	90,222	126,343	147,814	B 168,689	
環境保全対策に伴う経済効果	収益		▲38	▲100	33	313	453	468	366	339	313
	費用削減		1	43	5	4	14	14	13	48	48
	エネルギー費用削減		13	▲35	14	32	8	21	16	▲51	28
合計			▲24	▲92	52	350	475	503	396	C 390	

①対象期間:2014年4月1日～2015年3月31日 ②対象範囲:滋賀銀行(単体) ③集計方法:環境省「環境会計ガイドライン」を参考  
 ※[注記]2012年度より①、②を変更、2013年度より③を変更しています。  
 ①「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」の実施により、太陽光発電関連融資を計上しています。  
 ②環境配慮型の省エネ住宅が増加しており、「エコ&耐震住宅ローン」の抽出基準を一部見直し、計上しています。  
 ③電力会社のCO<sub>2</sub>排出係数上昇に伴い、CO<sub>2</sub>排出削減活動を正当に反映するため基準年(2006年)の排出係数で固定化して算出しています。

## ポイント解説

- A 省資源・省エネに努めた結果、(1)第5次長期経営計画の2014年度温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)排出量削減実績は**29.64%**となりました。
- (2)環境省との「**エコファーストの約束**」での削減実績は**19.66%**となりました。
- (両目標:2013～2015年度の3年間平均で2006年度対比20%削減)
- B 環境対応型融資商品の残高は、太陽光発電設備導入等の促進により、**168,689百万円**となりました。
- C 環境対応型融資商品による資金利益(貸出金利差-資金調達原価)は、**313百万円**となり、エネルギー費用などの削減と合わせて、**390百万円**の経済効果となりました。
- また、エネルギー費用削減は、一部新電力事業者からの購入等も含め、**28百万円**の削減となりました。

